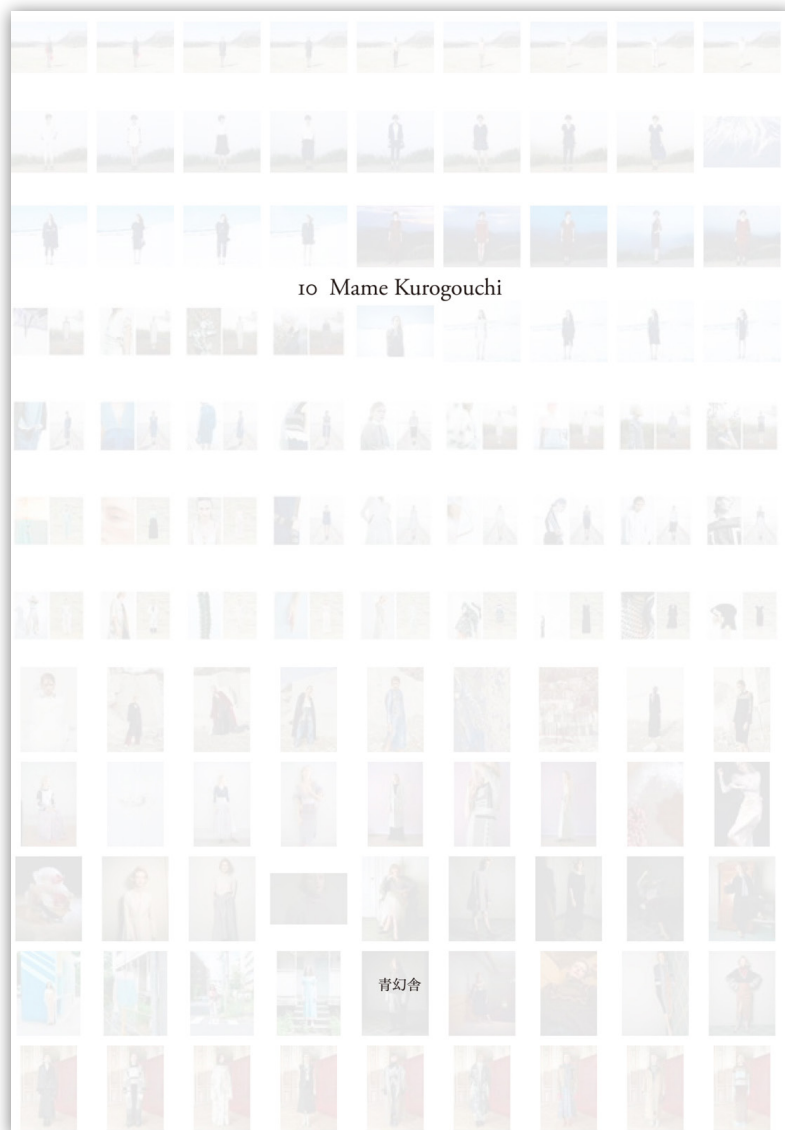


平素より大変お世話になっております。
このたび小社では、標記の書籍を刊行する運びとなりましたのでご案内申し上げます。



ブランド創立 10 周年のストーリーを追う「読む展覧会」

最初のコレクション発表から10年を迎えたファッションブランド「Mame Kurogouchi」。そのしなやかで美しいデザインは、著名人をふくめ多くの女性たちを魅了してきました。これまでの「Mame Kurogouchi」のブランド・ヒストリーを、10のキーワードでひもときます。各コレクション制作において、デザイナー・黒河内真衣子氏が書き溜めてきたスケッチやインスピレーションのきっかけとなったメモ、コレクション発表時のルックなどを掲載。また、彼女と親交の深い小説家・朝吹真理子による寄稿も収録しています。オールカラーのビジュアルでブランドの世界を存分に堪能できるコンセプトブックです。

■ 書誌情報

発売 | 2021年8月
書名 | 10 Mame Kurogouchi
著者 | 株式会社黒河内デザイン事務所
企画 | Mame Kurogouchi, 黒河内真衣子
編集 | 伊藤総研、佐々木好、飯野僚子
デザイン | 鈴木聖
判型 | A5
総頁 | 304頁
定価 | 本体2,700円+税
ISBN 978-4-86152-848-4 C0070

■ デザイナープロフィール

Mame Kurogouchi

黒河内真衣子(くろごうち・まいこ)
Mame Kurogouchi デザイナー
2010年、黒河内デザイン事務所設立、自身のブランド「Mame Kurogouchi」を立ち上げる。
2014年、毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞
2017年、Fashion Prize of Tokyo受賞。

画像の手配などで要望がございましたら、下記担当までご一報お願いします。何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 本書の中身紹介

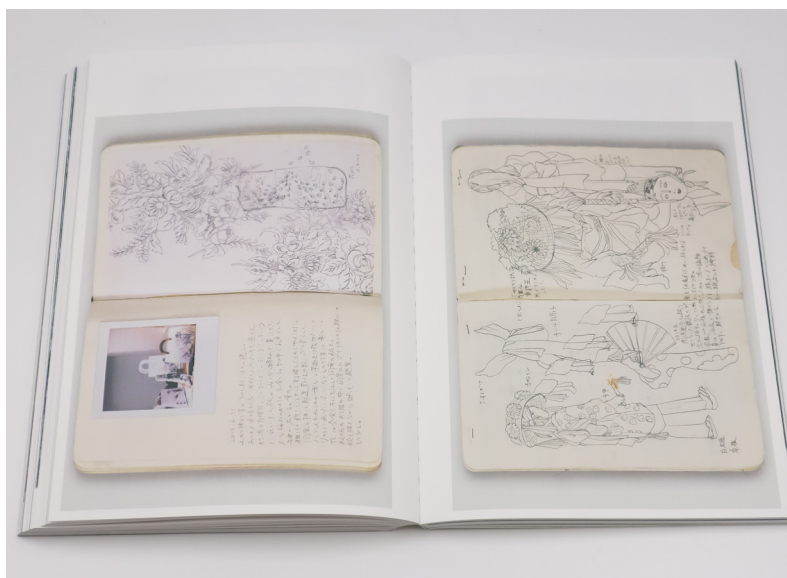
本書では、Mame Kurogouchi にまつわる10のキーワードを頼りに、ブランドの思想とクリエイションをひもときます。



色

「ひとつのコレクションが終わるたびに、突然、次の色が自分の中にやってくる。」（本文より）

黒河内氏が日常の中で見つけた「色」がコレクションの核となり、Mame Kurogouchiデザインにおいていかに生かされるか。写真と生地やカラーチャートを貼り付けた彼女のノートのページを対比しながら追う。



ノート

「ノートはもう何年も同じものを使っている。モレスキン ノート クラシック ソフト 無地 ラージ QP168 黒。」（本文より）

コレクションごとに彼女が書き溜めてきた膨大なスケッチや日記をふくむ、長野県立美術館で開催された展覧会でも公開されたノートの一部をノートがテーマとなった2019年のコレクションルックと共に掲載する。



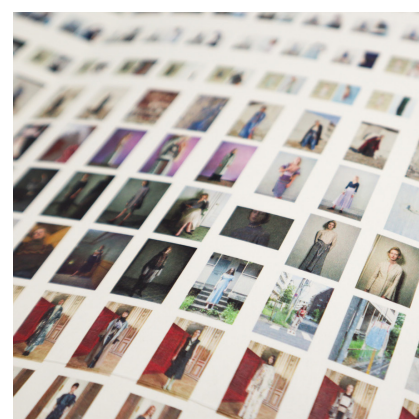
旅

「ポルトガルに行くのも、羽根木のアトリエに行くのも気持ち的には“旅”だ。実際の移動距離ではない、心の距離だと思う。」（本文より）

Mame Kurogouchiのインスピレーションにとって欠かせない「旅」。何気ない会話や景色に色濃く残った記憶をデザイナー自らが撮影した膨大な写真から辿る。

カバーについて

和風の「鳥の子紙」を再現した柔らかな風合いの用紙を使用しております。うら面には10年のコレクションのルックが全て印刷され、おもて面からその全貌がかすかに透けて見える仕様となっています。Mame Kurogouchiのこれまでの軌跡を余すことなくお楽しみいただける繊細な仕上がりと なりました。



『10 Mame Kurogouchi』刊行記念フェア

『10 Mame Kurogouchi』の刊行を記念して蔦屋書店3店舗で合同フェアを開催中です。

本フェアでは、新刊を構成する10の章をテーマに、デザイナー自身が選書した書籍も並びます。

章それぞれには、書き下ろしのコメントを寄せていただき、各店舗ごとに展開される選書ラインナップが異なります。

『10 Mame Kurogouchi』の世界観にふれる選書フェア、店舗巡りも併せてお楽しみくださいませ。

会期 | 8月17日(火)～約1ヶ月予定

開催店舗 | 銀座 蔦屋書店

代官山 蔦屋書店

六本木 蔦屋書店